

CSW68 報告書

岡山支部 木口京子

今年、初めてCSW68に参加させていただきました。

大学女性協会から派遣する若手の方々のアテンドということでしたが、3月11日から22日の会期中、仕事の都合により後半の3日間だけの参加でしたので、若手派遣のお二人に教えていただいたという感じでした。

3月13日と19日に行われた日本政府代表によるNGOブリーフィングにも、2回とも参加できておりませんので、ゼロドラフト(今回の優先テーマに関する合意に向けての草案)が交渉によってどのように合意に向かっているのか、もしくは合意から遠ざかっているのか、各国の主張や、他の参加団体の皆さんのご意見を伺うことができなかったことは、情報不足となり、大きな痛手だったと思います。

CSWには、大きく分けて「公式会議」、公式会議と並行して国連本部で開催される「サイドイベント」、NGOが国連本部周辺で開催する「パラレルイベント」がありますが、私は、語学力と情報収集力、3日間という時間的制約から、国連本部の中で開催される「サイドイベント」に絞り、可能な限り会議に出席し、全体像をつかもうと努めました。

国連人口基金による「児童婚を廃止するための市民登録と統計」、UN Womenなど国連機関による「ジェンダー平等、人権、民主主義を推進するためのマルチステークホルダーの協力と実践」、OECD、ILO、カナダ、アイスランドなどによる「男女間の賃金格差の解消に向けて同一労働同一賃金への取組み」、世界銀行による「ジェンダーを包括したインフラ融資を通じて格差を埋める取組み」、シエラレオネにおける「ジェンダーに基づく暴力情報管理システムの展開」など、今回の優先テーマ「ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女児のエンパワーメントの加速」を実現するために、それぞれの国の現状に対して、様々な視点からのアプローチが行われていることが理解できました。また、ジェンダーに基づく偏見や不平等、ジェンダーに基づく暴力は、各国共通に、根深く存在していることを実感しました。

CSWは毎年開催されており、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを実現するための包括的グローバル指針「北京行動綱領」の進捗状況を確認する機会であり、日本国内の男女共同参画や困難女性支援、DV防止などの取組みと密接につながっています。このことをもっと多くの人に知っていただきたいと思いますし、日本国内のあちこちで活動されている女性や子どもたちの支援を行っているグループやNGOの現場の声から、より現実的な課題解決への方法を考え、提案していきたいと思います。